

令和5年5月吉日

各中学校バレーボール部顧問 様
各ヤングクラブチーム 様

京都府中体連バレーボール専門部
京都府ヤングクラブ連盟

京都府総合体育大会に関わる変更点のお知らせ

日頃は京都府のバレーボール競技に対して、ご尽力いただきありがとうございます。

さて、京都府総合体育大会バレーボール競技出場権をかけた、夏の中体連各市町村・地区ブロックでの大会ならびにヤング出場枠をかけた大会（中体連に登録済みのチーム）の参加に関して、バレーボール専門部とヤング連盟にて日本中体連バレーボール競技部の細則を元に、今年度の京都府総合体育大会バレーボール競技に向けた、夏の大会に限り各市町村・地区ブロック中体連大会・ヤング出場枠をかけた大会は同一大会とみなし、どちらかの一方の大会にしか参加できないという方向で昨年度末より動いておりましたが、同一大会の解釈において、京都府中学校体育連盟の本部と、中体連バレーボール専門部との相違がありました。そこで、参加制限を設けることで出場の機会を失う学校部活動を無くすという観点を重視し、これまでお示ししていた種目の細則よりも、出場機会の担保を優先するという形を取ることになりました。すでに夏の大会に向けて、各チーム熟考していただき進めておられるところではありますが、変更点をご理解いただければと思います。

変更点

※R5 年度中体連の主催する京都府総合体育大会予選会（各市町村ブロックの夏季大会）と R5 年度ヤング連盟が主催する（仮名）京都府総体ヤング予選への二重の大会登録・出場は可となる。

※2 種別の大会に出場し、双方のチームが京都府総合体育大会バレーボール競技の出場権利を得た場合には、どちらか一方の登録・出場となる。

☆同一大会＝京都府総合体育大会バレーボール競技 7/29・7/30 に限定

双方のチームで大会に出場する場合の考え方

- ①双方のチームに出場しないと、どちらかのチームが欠員により出場できないケースの場合
- ②双方のチームが予選会を勝ち上がった場合のリスクの理解

上記2点を熟考した上での参加としてください。

この件に関する問い合わせ先

京都府中体連バレーボール専門部委員長

京都市立七条中学校 辻 泰之 メール ya-tsuji@edu.city.kyoto.jp

京都府ヤングクラブ連盟理事長

京都翔英高等学校 中野 謙二 メール yamabuki5nol7@iris.eonet.ne.jp